Ⅰ．教育

1．湯浅農場

1) 農場実習

農学部農業生産科学科と応用生命化学科の「農場実習」（3 年生，選択，2 単位），バイオサイエンス学科の「バイオ実習」（3 年生，選択，2 単位）で，月曜から土曜日までの 6 日間，集中実習方式で実施している．

応用生命化学科とバイオサイエンス学科は夏季休暇中に実施し，農業生産科学科は夏季休暇期間を省く，5〜12 月までの期間に実施している．2013 年の実施実績は第 1 表の通りである．

学習・教育目標および到達目標としては，附属農場での農作業を体験することにより，個々の作物の栽培技術を学ぶとともに，商品性を高める管理技術，安全で，効率的な作業方法や農作業に関する理念を学ぶ．さらに，農場での実習やセミナーハウスでの共同生活を通して，集団行動での責任感と協調性を養う．

実習日程としては，月曜日はオリエンテーション，農場の概要と栽培作物の栽培技術等の講義．火曜日〜金曜日までは，午前 9 時より午後 4 時 30 分まで農作業を行う．土曜日は午前中までとし，基本的にセミナーハウスの清掃等を行うが，実習を行うこともある．この間に，農場で保存管理している柑橘系統・品種保存園等，農場内の見学を実施する．実習内容としては，ミカン，マンゴー，ウメおよび水稲の栽培管理を中心として行い，他に，防風林のせん定や粉砕したせん定枝と生石農場からでる家畜糞を混合して，堆肥作りを体験する．また，梅干しとパック詰め，ミカンの収穫期には，ミカンの収穫，選別および箱詰め等の作業を体験する．また，トラクターの運転講習も適宜実施する．

成績評価方法および評価基準としては， 実習での作業態度と責任感，セミナーハウスでの生活態度等，総合的に判断して評価する．

第 1 表　農場実習の実施状況

学科名	研究室名等	期　間	履修	主な作業内容
農業生産科学科	植物感染制御工学研究室 A	5 月 27 日〜6 月 1 日	16	マンゴー管理，梅干し
	植物感染制御工学研究室 B	6 月 3 日〜8 日	11	マンゴー，ミカン管理
	育種工学研究室	9 月 16 日〜21 日	12	マンゴー，ミカン管理
	昆虫生態制御学研究室	11 月 11 日〜16 日	11	マンゴー，ミカン管理
	作物資源生産学研究室	11 月 18 日〜23 日	18	ミカンの収穫，選果
	園芸植物学研究室 A 班	11 月 25 日〜30 日	11	ミカンの収穫，選果
	園芸植物学研究室 B 班	12 月 2 日〜7 日	11	ミカンの収穫，選果
	植物・人間関係学研究室	12 月 9 日〜14 日	20	ミカンの収穫，選果
	農業政策学研究室	12 月 16 日〜21 日	6	ミカンの収穫，選果
応用生命化学科 バイオサイエンス学科	1 班	8 月 12 日〜17 日	25	マンゴー管理，梅干し
	2班	8月19日〜24日	26	マンゴー収穫，梅干し
	3 班	8 月 26 日〜31 日	12	マンゴー管理，梅干し
	4 班	9 月 2 日〜7 日	11	マンゴー管理，梅干し
	5 班	9 月 9 日〜14 日	8	マンゴー管理，梅干し
合　　計		14 週	198	名

2) 学部教育

①農学部農業生産科学科　施設園芸学（3 年前期，選択，2 単位）

②農学部農業生産科学科　農学野外実験（1 年生前期，必須，4 単位）

基礎生物学実験（1 年生後期，必須，4 単位）

③理工学部教職課程　園芸学（2 年通年，必須，4 単位）

2．生石農場

1) 農場実習

生石農場では，主に生物理工学部学生に対して見学や体験学習または卒業研究の協力を随時受け入れており，家畜育種や繁殖学の実地研修の場として，重要な役割を果たしている．今年度は農学部の夏期農場実習にも対応し，バイオサイエンス学科と応用生命学科に対して農場で栽培したシソの収穫と調整の技術指導を行った（参加学生数約30名）．

2) 学部教育

生物理工学部遺伝子工学科　発生工学II（2年前期，選択，2単位）